

支援学校高等部 英語

解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2**～大問 **4** の各問題から構成されています。
筆答試験後にリスニングテストを行います。リスニングテストの問題用紙および解答用紙は筆答試験終了後に配付します。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1**と大問 **2**については、マーク式解答用紙に、大問 **3**と大問 **4**については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1**と大問 **2**の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

| | ア | イ | ウ | エ |
|---|----------|-------|--------|----|
| 1 | 発達障害者支援法 | 社会生活 | 独立行政法人 | 共生 |
| 2 | 障害者基本法 | 平等権 | 行政機関 | 支援 |
| 3 | 発達障害者支援法 | 基本的人権 | 地方公共団体 | 共生 |
| 4 | 障害者基本法 | 平等権 | 地方公共団体 | 支援 |
| 5 | 障害者基本法 | 基本的人権 | 行政機関 | 共生 |

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について(通知)」(平成29年4月 文部科学省)の(5)小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

| 障がいの特性等に応じた指導上の配慮 | 障がい種別 |
|------------------------------|--------------------------------|
| 間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫 | <input type="text" value="ア"/> |
| 体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成 | <input type="text" value="イ"/> |
| 音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実 | <input type="text" value="ウ"/> |
| 空間や時間の概念形成の充実 | <input type="text" value="エ"/> |

| | ア | イ | ウ | エ |
|---|------|-------|-------|-------|
| 1 | 聴覚障害 | 視覚障害 | 病弱 | 肢体不自由 |
| 2 | 視覚障害 | 聴覚障害 | 肢体不自由 | 病弱 |
| 3 | 病弱 | 肢体不自由 | 聴覚障害 | 視覚障害 |
| 4 | 病弱 | 視覚障害 | 聴覚障害 | 肢体不自由 |
| 5 | 視覚障害 | 聴覚障害 | 病弱 | 肢体不自由 |

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 健康の保持

2 心理的な安定

3

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

| | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---------|-------|------|-------|----|
| 1 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 保有感覚 | 身体の動き | 理解 |
| 2 | 個人と他者 | 環境の把握 | 保有感覚 | 安全な生活 | 理解 |
| 3 | 人間関係の形成 | 体験学習 | 保有感覚 | 安全な生活 | 受容 |
| 4 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 代行手段 | 身体の動き | 受容 |
| 5 | 個人と他者 | 体験学習 | 代行手段 | 身体の動き | 理解 |

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。

ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及びの作成の推進、の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

| | ア | イ | ウ | エ |
|---|--------|-------------|-------------|-----|
| 1 | 大学 | 個別の教育支援計画 | 個別の指導に関する計画 | 差別 |
| 2 | 中等教育学校 | 個別の教育支援計画 | 個別の指導に関する計画 | いじめ |
| 3 | 中等教育学校 | 個別の指導に関する計画 | 個別の教育支援計画 | 差別 |
| 4 | 大学 | 個別の指導に関する計画 | 個別の教育支援計画 | いじめ |

(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を に捉える観点別学習状況の評価と、これらを に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に した評価として実施することを明確にしたこと。

| | ア | イ | ウ | エ |
|---|-----|-----|--------|----|
| 1 | 個別的 | 作業的 | 生徒の実態 | 準拠 |
| 2 | 職業的 | 客観的 | 家庭の状況 | 配慮 |
| 3 | 個別的 | 総括的 | 家庭の状況 | 準拠 |
| 4 | 分析的 | 客観的 | キャリア教育 | 配慮 |
| 5 | 分析的 | 総括的 | 生徒の実態 | 準拠 |

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて を行うこととしたこと。

| | ア | イ | ウ |
|---|--------|-------|-------|
| 1 | 生きる力 | 資質・能力 | 自由記述 |
| 2 | 学びの連続性 | 資質・能力 | 文章記述 |
| 3 | 横断的学習 | 資質・能力 | 文章記述 |
| 4 | 学びの連続性 | 改善・克服 | 特技の記述 |
| 5 | 生きる力 | 改善・克服 | 自由記述 |

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 ア－イ－ウ
- 2 イ－ウ－オ
- 3 ア－イ－ウ－エ
- 4 ア－ウ－エ－オ
- 5 ア－イ－ウ－エ－オ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

2 次の(1)～(25)の各英文の()内に入る最も適切な語(句)はどれか。

①～④から一つ選べ。

(1) Because the man is so shy, the most difficult part of his new job is having to () with clients at work-related events and parties.

- ① grant ② ignore ③ mingle ④ wither

解答番号は

(2) When you take a () attitude and steps to enact a business plan, you are demonstrating to your customers that your company will be a stable one, no matter what circumstances lie ahead.

- ① marginal ② negligent ③ proactive ④ shallow

解答番号は

(3) The stadium is () to our school, so it is very convenient for students who do after-school club activities.

- ① adjacent ② coherent ③ decisive ④ profound

解答番号は

(4) The government of that country has introduced several environmentally beneficial measures which encourage many industries to () recycling policies.

- ① capitalize ② evaporate ③ impersonate ④ implement

解答番号は

(5) Please review the new safety procedures and () any questions to Mr. Witman at extension 653.

- ① direct ② envision ③ intrude ④ linger

解答番号は

(6) The arrival last summer of three gigantic whale sharks led to a () of visitors at the struggling aquarium. Ticket sales rose by 50 percent.

- ① regulation ② resentment ③ resurgence ④ revenge

解答番号は

(7) The teachers are going to have their students debate about global warming at the end of the next lesson, but they are having trouble making clear () for evaluating the debate.

- ① brochure ② criteria ③ outskirts ④ transparency

解答番号は

(8) Each school should formulate a proper curriculum in () with the Basic Act on Education.

- ① compliance ② complicity ③ complication ④ compliment

解答番号は

(9) The journalist from Venezuela told the listeners that one of the ways we can respect each other is by first understanding what makes us different and then () such traits.

- ① concluding ② decaying ③ embracing ④ straying

解答番号は

(10) The mayor said, "Some of the problems arising these days have been related to unemployment. This is certainly the stuff of grave (). We have to think about solutions very seriously."

- ① alliance ② concern ③ edition ④ faction

解答番号は

(11) The programs we discussed and thought about for a long time are exactly () to meet the needs of the students and their parents.

- ① expired ② grown ③ pacified ④ tailored

解答番号は

(12) Even these days, not all students have access to portable devices or personal computers with Internet connection. Perhaps a more () challenge is the limited network infrastructure of many rural areas across Japan.

- ① fundamental ② gravitational ③ infectious ④ perishable

解答番号は

(13) The people involved with the author became suspicious that the new movie about his life would unfairly () him as selfish and uncaring.

- ① conceal ② imitate ③ portray ④ withdraw

解答番号は

(14) Because there is a () site in this district, heavy traffic congestion is expected until October 25.

- ① construct ② constructing ③ construction ④ constructive

解答番号は

(15) Many programmers in the company were finally able to work out () was causing the computer system to shut down abruptly.

- ① that ② what ③ when ④ why

解答番号は

(16) We hope the day will come () the people living in those villages will live peacefully together.

- ① at which ② from where ③ when ④ which

解答番号は

(17) () that she had a gift for playing the violin very well, she decided to be a professional violinist.

- ① Being realized ② Realization ③ Realize ④ Realizing

解答番号は

(18) I () the document in my office. I had it on the train on my way home.

- ① can leave ② can't have left ③ could have left ④ could leave

解答番号は

(19) He was chosen () many students to be the anchor in the 400-meter relay at the sports festival.

- ① across from ② from across ③ from among ④ from in

解答番号は

(20) The most important () of this project is to collect funds for children having surgery.

- ① objected ② objection ③ objective ④ objectively

解答番号は

(21) If you () his advice about the confusing issue the day before yesterday, you wouldn't be in such trouble now.

- ① had taken ② have taken ③ take ④ taking

解答番号は

(22) My brother came home suddenly, lay on the bed with his (), and soon fell asleep.

- ① arms fold ② arms folded ③ fold arms ④ folding arms

解答番号は

(23) Before you take this English course, I would like to know about your learning environment, so please answer the questions on the handout as () as possible.

- ① accuracies ② accuracy ③ accurate ④ accurately

解答番号は

(24) () headphones manufactured from June 10 to 30 need to be recalled because many customers have complained that they make strange sounds.

- ① All ② Each ③ Every ④ No

解答番号は

(25) I saw one of the most famous clothing stores from Germany () along the street. It reminded me that my friend was telling me about that two days before.

- ① building ② had built ③ to build ④ was being built

解答番号は

- 3 次の英文は、ある書物の一節を抜粋したものである。これを読み、あとの（１）～（９）の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：SCHOOLS THAT LEARN

A Fifth Discipline Fieldbook for Educators, Parents, and Everyone Who Cares About Education
Peter Senge, Nelda Cambron-McCabe, Timothy Lucas, Bryan Smith, Janis Dutton, Art Kleiner
NICHOLAS BREALEY PUBLISHING
3 ページ 1 行目から 5 ページ 2 行目まで

Peter Senge, Nelda Cambron-McCabe, Timothy Lucas, Bryan Smith, Janis Dutton, Art Kleiner,
“SCHOOLS THAT LEARN”

(1) (ア) ~ (ウ) に入る最も適切な語を①~③からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

① apprentices ② incubation ③ relevance

(2) 下線部①の語を、文全体の意味が通るように並べ替えて書け。

(3) 下線部②の意味を日本語で書け。

(4) 下線部③の理由について、experiences like theseの具体的内容を明らかにしながら、80字程度の日本語で書け。

(5) 下線部④の内容を表す英語を書け。

(6) 下線部⑤の意味を日本語で書け。

(7) 本文中の に入る最も適切な語を①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① fewer ② larger ③ more ④ smaller

(8) 下線部⑥の内容を最も適切に表しているものを①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① As our world becomes more socially, economically and technologically advanced, schools will become less significant places for us.
- ② Critics anticipate that schools will be far from indispensable because children have already come to learn online with their respective devices.
- ③ Regardless of the speed at which technology develops, schools will remain necessary as physical places to satisfy children's curiosity to learn.
- ④ With the pace of technological change accelerating, our societies will become places without distinctions between living and learning.

(9) 下線部⑦の語を、文全体の意味が通るように並べ替えて書け。

4 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の下線部の内容を表す英語を書け。

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切である。

(「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」平成31年1月21日 中央教育審議会より)

(2) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編 英語編において、英語コミュニケーションⅠの話すこと[発表]の領域目標では、「日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。」とある。

これらを踏まえ、高等学校英語教員として生徒の発表する力を高めるために、授業でどのような言語活動に取り組むか。留意点を含めて、100語程度の英語で書け。

解答の際は、次の記入例にならって書き、コンマやピリオドなどの記号は語数に含めないこと。

| 記入例 | | | | | |
|-----|--------|-------|------|--------|-----|
| Do | you | know | what | date | it |
| is | today? | Well, | it's | August | 22. |

